



ネイチャーセンターだより

2023年11・12月号

新・いきもの図鑑



▶可動域の大きい脚は、背中側に乗せて休んでいることもある

ミミカイツブリ (耳鳩)

カモのように見えますが、カイツブリ科に分類される鳥で、尾羽が短く房状のためカモの仲間よりお尻が丸く見えるのが特徴です。日本で見られるカイツブリ5種の中では中くらいのサイズの種類。大きさも羽の色もよく似ているハジロカイツブリとは、冬羽では頭部と顔の白黒の境界がはっきりしているのが識別ポイントです。潜水をする鳥は、脚が身体の後ろの方についていますが、カイツブリの仲間は最たるもので、身体の後端部に脚がついています。ひれ状の弁がついた足指を持ち水中を自在に泳ぎ回りますが、その脚のつくりから歩行は苦手で、繁殖期以外に陸に上がることはほとんどありません。春国岱では春と秋の渡りの季節、特に10～12月ごろに、春国岱西側(ハマナスコース側)の根室湾海上で観察されます。大群をつくることは少なく、単独や数羽でいることが多い鳥です。

【参考文献】河井大輔他. 2004. 北海道野鳥図鑑. 亜璃西社. 中村他. 1995. 原色日本野鳥生態図鑑<水鳥編>. 保育社.

春国岱でウズラシギの群れを確認しました

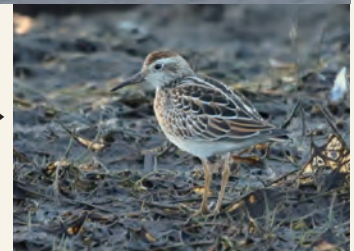
NEWS

10月20日、春国岱ヒバリコース迂回路の草地周辺でウズラシギ37羽が飛翔するのをレンジャーが確認し、翌21日にも同じ場所で70羽以上がいるのをレンジャーと根室市民が確認しました。その後、29日まで毎日観察されています(10月30日現在)。

ウズラシギは日本では1羽や数羽で見られることが多いですが、まれに群れで観察される鳥。春国岱ではこれまで1～数羽での記録しかなく、これだけの群れでみられたのは初めてです。



▲群れで飛翔



キタキツネコース木道周辺にいたウズラシギ

春国岱での過去5年の記録

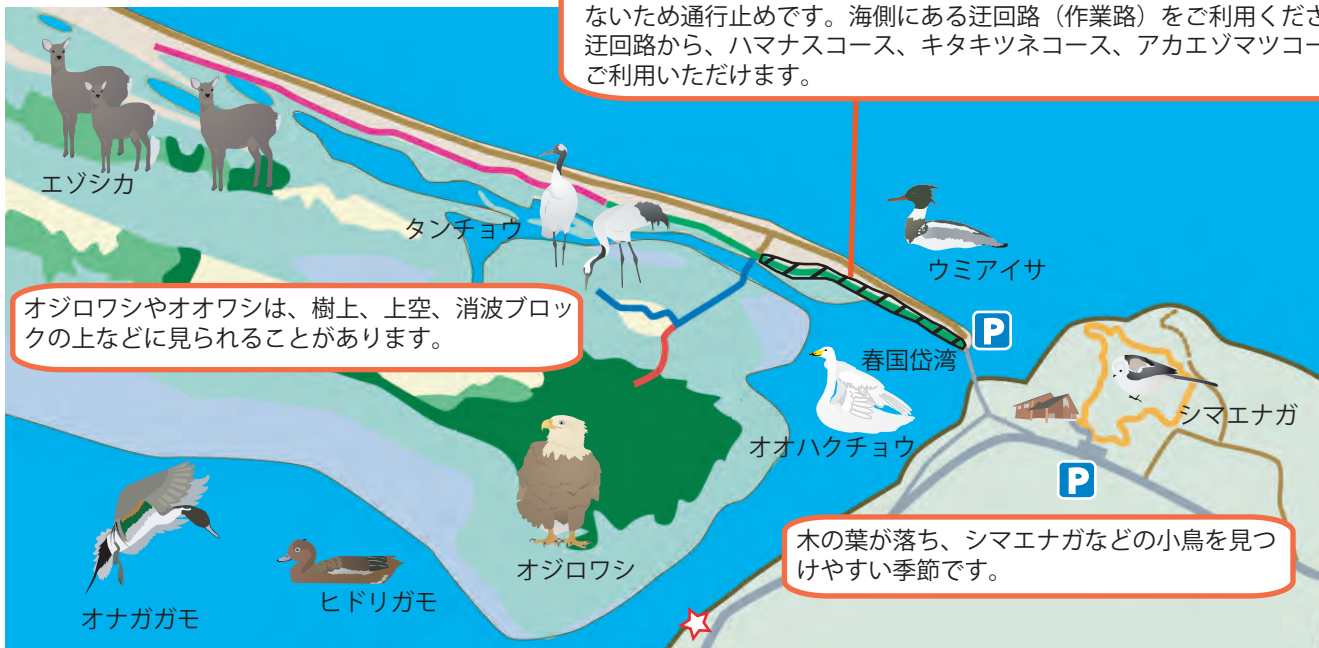
- ・2018年10月2日：2羽。ハマナスコース塩性湿地にいた。
- ・2018年11月1日：1羽。ヒバリコース木道沿いの湖岸を歩いていた。
- ・2019年10月7日：1羽。ヒバリコースぞいアッケシソウ群落の周囲を歩いていた。
- ・2019年10月14日：1羽。ヒバリコースぞいのエゾノコウボウムギ草原から飛び立ち、先端方向へ飛去。
- ・2020年10月4日：1羽。ヒバリコース木道脇。

【参考文献】叶内拓哉ほか. 2015. 山溪ハンディ図鑑7新版日本の野鳥. 山と溪谷社.

見どころMAP

※冬の木道除雪は行っておりません。積雪がある場合は、足元に十分ご注意ください。

駐車場から木橋までのヒバリコース木道は、破損が著しく安全が確保できないため通行止めです。海側にある迂回路（作業路）をご利用ください。迂回路から、ハマナスコース、キタキツネコース、アカエゾマツコースをご利用いただけます。



オジロワシやオオワシは、樹上、上空、消波ブロックの上などに見られることがあります。

木の葉が落ち、シマエナガなどの小鳥を見つけやすい季節です。

- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.4km、約10分)

- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- ★ 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

11・12月の見どころ予報

凡例

- ◎ ぜったい見られる (と思う)
- ちょっと気をつければ見られる
- + ようく気をつければ見られる
- ・ めったに見られない

オジロワシ オオワシ	11月	+	立枯木や消波ブロックの上、砂丘の上にとまっていることが多く、カモの群をおそっているのを見ることがあります。オオワシは10月23日に今季初確認しています。
	12月	○	
タンチョウ	11月	○	春国岱周辺の湿地や干潟などで見られます。今年生まれの幼鳥は、頭から首にかけて茶色っぽいのが特徴です。12月に入ると釧路湿原に移動するものが多くなり、根室では見られる機会が減ります。
	12月	+	
オオハクチョウ	11月	◎	例年、最も数が多くなる11月上旬～中旬には、風蓮湖・温根沼全体に約2,000羽がやってきます。厳冬期、多くは本州へ移動し、根室では少数のみが越冬します。
	12月	○	
カモ類	11月	○	11月、春国岱湾では、2,000羽を超えるカモ類が観察できます。12月は、多くの種類が南へ渡っていくため数が減っていきませんが、根室湾では、クロガモやウミアイサ、ホオジロガモなどの海ガモ類がよく見られるようになります。
	12月	+	
カモメ類	11月	◎	シロカモメとオオセグロカモメがよく観察できます。ウミネコやユリカモメは南へ渡っていくため見る機会が減り、ワシカモメは少数が観察できます。
	12月	○	
春国岱	野鳥 (森)	運が良いと、クマゲラの鳴き声が聞けたり、森の上を飛ぶ姿が見られます。	
	けもの	エゾシカ、キタキツネが見られます。	
自然学習林	野鳥	ハシブトガラ、シジュウカラ、ヒガラ、ゴジュウカラ、エナガ (シマエナガ)、キバシリ、キツツキ類 (アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ) が見られます。	
	けもの	エゾシカがよく見られ、稀にエゾリスが見られることもあります。	

施設ボランティアグループ「スंक」の活動で 植生調査をはじめました

春国岱におけるシカの食害については、ネイチャーセンターだよりでもたびたび取り上げてきました。ハマナス群落における食害の影響がノゴマなどの鳥類に大きなダメージを与えていることや、ウラギクなどの希少な植物が減少していることがわかっており、その対策としてシカ柵の設置による植生の回復を期待しているところです。

そして、ネイチャーセンターでは施設ボランティア「スंक」の皆さんと自然学習林でもシカの食害対策に取り組んでいます。自然学習林では過去にコマドリの生息が確認されていましたが、年々減少し、2018年以降は確認されなくなってしまいました。その原因をシカによる食害でササやぶがなくなったからだと考え、ササやぶ復活のために昨年シカ柵を設置しました。

今年に入って、スंकの皆さんとシカ柵の中と外とでどのような植物の変化が起きるか、シカ柵の効果があるのかどうかを調べるため、植生調査を行っています。5～9月に毎月1回調査を行い、シカ柵内と柵外とでそれぞれ37種の草本植物を確認しました。また、ササに覆われる割合は柵内の方が柵外よりあきらかに多い結果となりました。

調査は今年始めたばかりです。2年目以降も調査を継続し、変化を調べていけたらと考えています。



▲2022年度のシカ柵設置時の様子



▲植生調査の様子。はじめはみな植物の種名がわからず、図鑑を引きながらでしたが、徐々にわかるようになってきました。



◀シカ柵内の様子。
ササが繁茂しています。



▶シカ柵外の様子。
ササや他の植物が少なく、
地面が見えています。

※スंकについて、詳しくは次のページ中段をご覧ください。定例会はいつでも見学可能です。興味のある方は、ネイチャーセンターまでお問い合わせください。

「高病原性鳥インフルエンザ」ご注意ください

高病原性鳥インフルエンザといえば、昨シーズンは全国的に卵不足が起きるなど、記憶に新しいと思います。今シーズンもすでに、北海道内で2件の高病原性ウイルス発見が報じられており、環境省は対応レベル3（警戒度最大）に引き上げています（10月30日現在）。ウイルスを広めないために、水辺で野鳥観察をする場合には、以下のようにご注意ください。

1. 生きていた野鳥や野鳥の死体には、素手でさわらない。
2. 野鳥のフンや羽毛をできるだけふまない、さわらないようにする。もしさわった場合は、流水とせっけんで手をよく洗い、うがいをする。
3. 野外観察の後は、くつや車のタイヤをしっかりと洗い、アルコールやうすめた塩素系の漂白剤などで消毒する。帰りに動物園や農場には立ち寄らない。
4. 弱った野鳥や死んだ鳥を見つけた場合は、できれば、根室振興局に場所や状況を知らせる。

（電話 0153-23-6823）

★春国岱ネイチャーセンターのイベント情報★



◆12/3 木の実でクリスマスツリーをつくろう！（自然工作教室） 要申込

森の恵みを使ってナチュラルなミニクリスマスツリーを作ります。マツの枝でツリーを形作り、松ぼっくりやクルミの殻、リボンなどで自由に飾り付けをしよう！木の実や森の生きもののお話もします。

◇開催期間：12月3日（日） ①10：00～11：30 ②14：00～15：30

◇場 所：春国岱ネイチャーセンター

◇対 象：小学生～おとな

※グルーガン（ホットボンド）を使います。

小学生以下は保護者同伴でご参加ください。

◇定 員：各回5組（先着順）

◇参加費：1人100円（保険代）+工作キット1つにつき500円

例）2人で参加し、作るのは1つの場合。200円+500円=700円

◇服装・持ち物：汚れてもよい服装、軍手、筆記用具、作品持ち帰り用の袋（マチのある紙袋やビニール袋など）

◇申込方法：メール、電話または直接。参加者全員の氏名と連絡先（小学生以下の方は年齢・学年も）をお知らせください。

◇申込〆切：12月1日（金）16：00



イメージ。仕様は変わることがあります。

申込み・問合せ先：根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター
電話 0153-25-3047 / メール nemu_nc@marimo.or.jp



募集中！

ボランティア『スंक』

春国岱ネイチャーセンターでは、施設ボランティアグループ『スंक』で活動してくださる方を随時募集しています。

『スंक』は、ネイチャーセンター周辺の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び行動することを目的として活動しています。月に1回（基本的に第3月曜日）の定例会で、自然学習林の巡回や道標・樹名板などの管理を行ったり、市民向けのイベントを企画したりしています。熱いながらもゆるい楽しい集まりです。

ボランティアに興味のある方、定例会の見学ご希望の方は、ネイチャーセンターまでお問合せください。

◆対象：18歳以上

◆年会費（ボランティア保険料含む）：1,000円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 禁煙にご協力ください
- 野生動物の生息地です。マダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください。
- ドローンを飛行される際は、他の利用者や野生生物に配慮をお願いいたします。



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地

TEL：0153-25-3047 FAX：0153-25-8570

Eメール：nemu_nc@marimo.or.jp

HP http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

Facebook <https://www.facebook.com/shunkunitai/>

◆開館時間 9：00～16：30

◆休館日：11月1・6・8・15・22・24・29日

12月6・13・20・27・29～31日 ※年始は1月4日から開館

◆団体でご利用の方へ（事前予約制・2週間前までにご連絡ください）

自然観察の案内や室内でのレクチャーなどのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録